

JO NAPOT!

ヨー・ナポト! No. 55

Gifu - Hungary Friendship Association

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2013. 6発行

梅雨明けが待たれる今日この頃ですが、皆様にはご健勝にてお過ごしのこと
と思います。事務局では、春の異動に伴い新しいスタッフが担当することになり
ました。引き続き、よろしく願いいたします。

1. 感性に響いた、写真 コーシャ・フェレンツの世界「多元時空」

(1月22日～2月3日中部学院大学・関市)

岐阜県とも親交のある、映画監督で元国会議員のコーシャ・フェレンツ氏の
写真展を、1月22日から2月3日までの間、関市の中部学院大学関キャンパ
スピアライブラリーで開催しました。

期間中の入場者は、約2000人となりました。この予想を超える入場者数
は、作品の訴求力が強かったことから、学生を始め近郊の市民、友好協会員ら
の話題となったことがその理由と考えられます。また展示会場が大学図書館の
前にあったため、図書館利用者に鑑賞を促したことも分かりました。

会場に設置した感想ノートを見ると、「大学といういつも来る場所で外国と



(写真展「多元時空」岐阜関展 会場風景)

国内の写真を見ることが
できるのはうれしかった。(女性)」「奥行を
感じる構図と、時が止ま
ったような感覚と躍動感
が同時に存在していて、
すばらしかった。(女
性)」「写真の中に自分
が吸いこまれそうな感覚
があり、あのすばらしい
風景の中に自分がいるか
のようだった。(男性)」
と学生の素直な感想が書
いてありました。

一般鑑賞者からは「自

然の美、世界の美しさをこのようにとらえた撮影力に感激しました。そしてこのような美がこんなに多くあることに、心がいやされそして励まされました。

（60代女性）」「写真の中に居るといやされる気分になる。自分自身がその世界の中に入っている自分を感じる。（60代 女性）」「撮り方（技術など）によって、これ程説得力のある写真が生まれることに大変驚きました。コーシャ氏の人生がその礎にあつてのことが重要であると思いますが…。（60代男性）」「どの作品もすばらしく、その場所に訪れたいくなる。想像力をわきたたせる作品でした。心が豊かになりました。（40代女性）」「写真が自然の佇まいの空間に本人の個性が表現されていて感動を覚えるものが存在する！！自然の空：岩：水：木々：季節感：世界観！！（65歳以上男性）」と書き留めてあり、各作品が見る人の感性に響いた印象が伺えました。



（写真展に会場された正眼寺 山川宗玄老師）

また、作品として紹介された正眼寺の山川宗玄老師が来場され、一瞬の光の捉えかたに感心されていました。コーシャ氏と岐阜県ハンガリー友好協会の交流は、18年前に遡ります。この間に様々なご支援を受けましたが、コーシャ氏と山川老師の間にも劇的なご縁があることが分かり、以来、親しい交流が続いているなど話題が尽きませんでした。今回の写真展は、大きな足跡を残されてきたコーシャ氏の芸術家としての活動を再認識する大変良い機会となりました。

写真展の開催に際しては、中部学院大学に大変お世話になりました。紙面を借りてお礼申し上げます。なお、日本ハンガリー友好協会から、中部学院大学と当友好協会に対し感謝状を送られることになりました。

2. 新春大使館訪問 （2月14日駐日ハンガリー大使館・東京）

山田会長は、新春のご挨拶のため2月14日に東京三田のハンガリー共和国大使館を訪問し、セルダハイ・イシュトヴァーン大使と懇談をされました。懇談では、1年の事業計画を説明してご協力をいただけることになりました。

3. ハンガリー温泉療法と料理とワイン、「ハンガリーの夕べ」盛り上がる （4月4日奥飛騨温泉郷中尾高原ホテル・高山市）

19回目となる「ハンガリーの夕べ」は、奥飛騨温泉郷の中尾高原ホテルで50名近い参加者を得て開催しました。奥飛騨での開催は、初めてのことです。今回は＜いで湯交流＞をテーマに、第1部で「温泉療法セミナー」を開催し、

第2部を懇親会としました。これは、昨年12月に開催された「国際フォーラム」で、ハンガリーの温泉療法が話題となったことから、改めてセミナーとして紹介したものです。

講師に立った大使館のカールマン・アンドレア書記官は、温泉療法の歴史と温泉大国の理由、温泉療法の効果などについてパソコンの映像を用いながら説明され、参加者の関心を高めていました。

その後、懇親会に移り、参加者たちは、イシュットヴァーン大使を囲み、大使館のバラージュ料理長とホテルの藤田料理長による料理とワインに舌鼓を打っていました。



(ハンガリー大使館 二等書記官 カールマン・アンドレア氏)

地元の熱意を見ていると、いで湯交流は案外早く実現するかもしれません。

4. 「ブダペスト春の祭典協賛 第11回フレンドシップコンサート」盛況に終了 (4月4日ブダペスト・リスト音楽院記念館オールドホール)

奥飛騨で「ハンガリーの夕べ」を開催した同日、ブダペストでは、春の音楽祭協賛のフレンドシップコンサートが、ブダペストのリスト音楽院記念館オールドホールで開催されました。第11回目となる今年も満場となる観客を迎え、岐阜からの留学生を中心にハンガリーの音楽家が参加しました。



(フレンドシップコンサートの様子)

今回は、<さくらさくら><荒城の月>や、中田喜直、黛敏郎の曲など日本の曲が多く選ばれ、ピアノソロ、ヴァイオリンとピアノ、チェロ四重奏、チェロソロ、ピアノ五重奏と多彩な演奏が披露され観客をわかせました。

年々盛んになるコンサートですが、演奏者、教授陣、そして運営にあたるシュディ社に、感謝の意を表します。

5. 東濃支部の再スタート (4月17日多治見市オースタットホテル)

岐阜県ハンガリー友好協会には、飛騨支部と東濃支部の二つの支部があります。この内、東濃支部について今年度から組織を固め活動を活発化させることになりました。

再出発は、東濃支部の集いとして4月17日多治見市のオースタットホテルで、約50人のメンバーが集まって開催されました。この中で加藤支部長は、「これまで休眠していたわけではなくコンサートや陶芸交流などの活動を行ってきた。この度、新しい会員の力を得て、改めてハンガリーと広い交流をしていきたい」と抱負を語られました。

新しい東濃支部に期待をしたいと思います。

6. マスターコース、日程など決まる (8月2日～11日)



The poster features a photograph of a chamber ensemble performing on stage. Below the photo, the text reads: 'リスト音楽院 マスターコンサート'13 ぎふ Liszt Ferenc Zeneművészeti Egyetem'. It specifies the date as '2013年8月2日' and provides details about the concert's duration (18:30-19:00), location (Gifu Exchange Center Sakura Hall), and ticket prices (2,000 yen for general, 1,500 yen for students). A program list includes works by Liszt, Schubert, and Brahms.

今年のマスターコースは、レッスン開始前のマスターコンサートが、8月2日、高山市国府町のこくふ交流センター・さくらホールと、8月4日、岐阜市のサラマンカホールの2会場で開催します。またレッスンは、8月5日から10日まで、サラマンカホール・ピアノと、岐阜県図書館(5日のみグランベール岐山)・ヴァイオリン、クララザール・チェロに分かれて行われます。11日は、サラマンカホールで留学選考会となりました。

ぎふ・リスト音楽院マスターコースは、音楽家の育成(レッスン)、愛好家の拡大(コンサート)、国際交流(懇親会)を目的に始め、19回目を迎えます。

(「リスト音楽院マスターコンサート'13 ぎふ」ちらし) 全国的な音楽事業となったマスターコースを、コンサートやレッスンの様子などお楽しみください。

7. 正眼寺山川老師のハンガリー訪問 (9月8日～11日ハンガリー)

正眼寺の山川宗玄老師がスイス・チューリッヒ道場での指導後、ハンガリーに立ち寄られることになりました。現地では、交流の深いコーシャ氏やリスト音楽院教授達を訪問され、講話会も計画されています。

協会では、山川老師に関わるハンガリーにおけるアテンド計画を作ります。

事務局から

この4月から、事務局長を渡辺久登、事務局を大畑知也が担当いたします。皆様よろしくお願ひします。